

東京フィル団員の奏でる音楽とともに **森の魅力**をたっぴいと

～町と東大先端研が『森の動画』を制作～

町と包括的連携を結んでいる東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍教授に協力いただき、森林が持つ生物多様性保全機能や土砂災害防止、水源かん養機能、文化機能、物質生産機能など多面的機能の理解を深めることを目的に、本町の森の魅力を引き出す動画（4本構成）を作りました。私たちと自然の関わりについて考えてみませんか？

YouTubeで『ポロトの森エコミュージアム推進協議会』と検索するか、町ホームページ・フェイスブックからご覧いただけます。農林水産課でもDVDを貸し出します。

①『森を聴く』（動画時間12分07秒）

東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター・近藤薫氏らメンバーがポロトの森で音楽を奏でます。

②『森を食す』（動画時間10分14秒）

料理研究家・土井善晴氏が白老の食材を用い、ポロトの森で食を味わいます。

③対談『人間中心からノイズを楽しむ自然中心の暮らしへ』（動画時間1時間24分07秒）

中邑教授、東フィル・近藤氏、土井氏が白老での体験を語ります。

④対談ダイジェスト『森からすべてが始まる』（動画時間5分47秒）

①、②、③を短くまとめたものです。



問い合わせ先：農林水産課 水産林務グループ ☎82-6491

知っておこう アイヌ文化

鹿姫の恋

イランカラッテ。時折、住宅地でも見かけることのある鹿。現在では農作物への被害や車との衝突が問題となる一方で、ジビエ料理がブームとなり、食料としても見直されています。アイヌ民族にとってもサケと同様に大切な食料として、また、角や骨のほか、その冬毛が良質な毛皮として、生活用具を作る上でも鹿は欠かせない大切な動物でありました。そうした鹿のカムイ（神）の娘（鹿姫）がウラッペツという村の村長に横恋慕し、神の国で結ばれたいと願い、村長の家族を不運にさせ、村長が自殺するように仕向ける、『鹿姫の恋』という物語が白老アイヌの詩人、森竹竹市（1902～76年）によって伝承されています。アイヌ民族は、人間の生活に不可欠なものや人間の力ではどうすることもできないものをカムイと考えていましたが、その存在は人間とかけ離れたものではなく、極めて人間的であることが『鹿姫の恋』から読み取ることができます。何しろ、人間の男に恋をして、カムイとして人間の国へお嫁に行くことは自尊心が許さないと、村長を不幸に追いやるのですから。さて、村長の運命と鹿姫の恋の行方は？この物語の続きは、ぜひチキサニへお越しください。アイヌ関連の書籍が随時、閲覧・貸し出し可能です。



例年、2月下旬に開催される山のイオル「冬の遊び」の鹿皮を使ったそり滑り体験

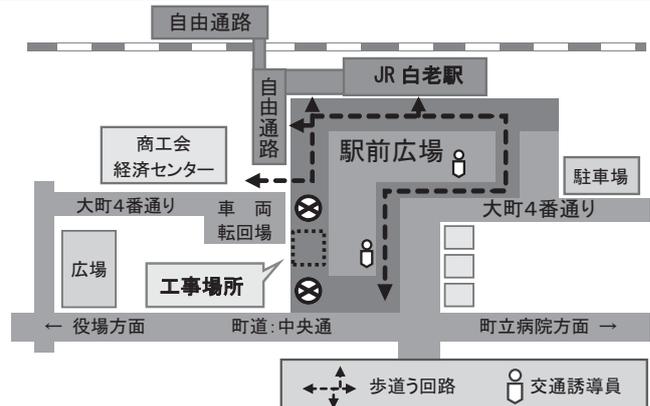
アイヌ総合政策課 アイヌ総合政策グループ 学芸員 森洋輔

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301

3月1日～6月頃の期間 白老駅前広場の一部歩道通行止め

3月1日～6月頃の期間、JR白老駅前広場と周辺駐輪場などの整備工事に伴い、一部歩道が一時的に通行できなくなるため、右図のう回路の通行をお願いします。工事期間中は、現地の案内標識や交通誘導員において案内しますので、係員の指示に従って通行されますようご協力をお願いします。

※駅前広場内への車両の乗り入れや、バス・タクシーの乗降には問題はありません。
※路上や民地への駐車などは大変迷惑となりますので遠慮してください。



問い合わせ先：胆振総合振興局 室蘭建設管理部 登別出張所 ☎0143-85-2311